

総務委員会資料

所管事務の調査（報告）

「(仮称) Kawasaki-NEDO
Innovation Center」の設置・運営について

資 料 (仮称) Kawasaki-NEDO Innovation Center の設置・運営について

参考資料1 NEDO Incubation Center (NIC) 見取図

参考資料2 報道発表資料（平成30年5月28日）

経済労働局

平成30年11月22日

1 経過・背景

2016年6月 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(以下「NEDO」という。)と、ベンチャー企業の発掘・育成などの産業推進協定を締結

【NEDO】

- ・研究開発型ベンチャーや新事業の創出を目指す起業家を対象に経営・事業化の支援を実施
- ・2015年度には支援拠点として「NEDO Incubation Center」を開設・運営
- ・さらなる起業家の発掘に向けて、相談窓口の充実が課題

【川崎市】

- ・約400の研究開発機関が集積
- ・国の就業構造基本調査によると、25～44歳の起業希望者が増加し、有望な起業家やベンチャー企業が生まれる潜在性が高まっている。
- ・力強い産業都市として持続的な経済成長を図るため、イノベーションを創出する起業家を次々に生み出す拠点が必要

2018年5月 NEDOと、起業家やベンチャー企業を創出するためのワンストップ支援拠点の設置に向けた覚書を締結

※NEDO:川崎市に本拠地を置き、経済産業行政の一翼を担う経済産業省所管の公的技術開発マネジメント機関。「第4期中長期計画」(2018年度から2022年度)では「技術開発マネジメントによる成果の社会実装」、「研究開発型ベンチャーの育成」、「中長期技術開発の方向性提示」の3つを柱としている。

2 目的

研究開発型ベンチャー企業をはじめ、幅広い分野の起業家やアールステージ(起業初期)のベンチャー企業を主な対象として、情報・資金の獲得や事業会社等とのネットワーク構築の支援を提供する。

これらの支援により、成功確率の向上と成長スピードを早めることで、起業家を次々と生み出す好循環の仕組みを構築し、イノベーションの創出による本市経済の活性化や雇用の拡大につなげる。

3 施設

(1)名称 (仮称)Kawasaki-NEDO Innovation Center (以下「K-NIC」という。)

(2)場所 ミューザ川崎セントラルタワー5階(川崎市幸区大宮町1310番地)
※現在、NEDOが運営する「NEDO Incubation Center」を一部改修して設置

【選定理由】

- ①JR川崎駅からペDESTリアンデッキで直結しており、アクセスが良好
- ②NEDO本部と同一建物内とすることにより、NEDOの全国規模のネットワークや密な関係が活用可能



ミューザ川崎セントラルタワー

(3)運営開始 2019年3月(予定)

(4)床面積 約570㎡

(5)開設時間 13時から21時まで

※類似施設のイベント・セミナー実施時間は午後、夜間に集中

※開設時間は、利用者の利用状況やニーズを踏まえて再検討。

(6)休業日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始(年末年始を除きイベント実施時のみ開設)

(7)対象者(起業希望段階から起業初期段階を主な対象とする)

- ①研究開発系の起業家・ベンチャー企業(主に起業前後、起業初期)
- ②幅広い産業分野における起業家(ICT系、ソーシャル系など)

4 設置・運営主体

(1)設置主体:川崎市、NEDO

(2)運営主体:川崎市、産業振興財団、NEDO

5 運営主体における主な役割

- (1)川崎市及び産業振興財団は、起業家をはじめ人材、情報等が集まり交流が促進されるよう広域的な産学官ネットワークや交流・マッチング機能を活用し、起業家の裾野を拡大
- (2)運営主体3者は、各々が有する経営から技術分野までの幅広い支援人材のネットワークを共有化し活用
- (3)産業振興財団は、「川崎モデル」の産・学・官による顔の見えるネットワークを活用したマッチング支援及び伴走型支援でベンチャーの成長を加速
- (4)NEDOは、研究開発型ベンチャーを対象に、NEDOの認定人材を活用した伴走型支援で、世界展開するベンチャー企業を創出

	NEDO	川崎市	産業振興財団
事業運営	企画業務		マネジメント業務
	支援事業強化業務		
支援事業	受付業務、面談業務、支援人材紹介業務、専門分野別のアドバイス業務、イベント・セミナー開催業務、コワーキングスペース運営業務 ※受託事業者が実施		

※各業務の内容は「7 業務内容」を参照

6 運営体制

(1)運営体制の考え方

運営主体3者の連携した協力体制のもと、運営開始までに、3者のより詳細な業務分担や責任分担等について協議・調整を行い、適時・適切な人員体制を構築する。

(2)運営体制

①川崎市・NEDO・産業振興財団

事業計画や運営の課題等の共通する事項に対応

②アドバイザーボード

ア 目的

国内外の起業家・ベンチャー企業等の動向やニーズを先取りした効果的な事業展開と、情報発信力、ブランド力の強化のため、専門的な見地から助言を得ることを目的

イ 人材

アカデミア、起業経験者、支援者(法律家、投資家)などベンチャービジネスに知見を有する人材

③受託事業者

ア マネージャー : 支援事業やスタッフの取りまとめ、支援対象者のヒアリングなど

イ 広報・企画スタッフ : 主催イベントの企画・実施、外部の持込イベントの審査など

ウ 受付スタッフ : 受付・利用登録など

④支援人材

NEDOの認定人材、産業振興財団及び受託事業者が有する専門分野別の支援人材

7 業務内容

(1) 事業運営 ※川崎市、産業振興財団、NEDOが実施

① 企画業務

事業の企画立案・実行、課題整理、効果検証、予算確保

② マネジメント業務

運営主体間の調整、支援事業の全体調整・進捗管理

③ 支援事業強化業務

ア 支援人材の発掘・育成とネットワークの構築による支援体制の強化

イ 地域の支援機関や金融機関等との連携強化や大企業等との連携関係の構築

(2) 支援事業 ※受託事業者が実施

① 受付業務

利用者情報の登録・更新や、イベント等の参加受付

② 面談業務

マネージャーは起業家の課題や状況等を把握し、NEDO・産業振興財団職員と連携してフォロー

③ 支援人材紹介業務

ア マネージャーがNEDO・産業振興財団職員の助言を得て起業経験者、専門家などの支援人材を紹介

イ マネージャーは研究開発系の起業家の場合、NEDO事業などの活用に向けてNEDO職員を紹介

④ 専門分野別のアドバイス業務

ア 研究開発系の起業家に対する、起業経験者等の自らの体験に基づくアドバイス

イ 経営面や投資・融資・公的資金の獲得を図るアドバイス

ウ 「川崎モデル」の知財マッチングなど大企業等の事業会社との事業提携の促進

エ デザインなどの視点をういた製品・サービスの付加価値の向上促進 等

⑤ イベント・セミナー開催業務

ア 起業家、事業会社、投資家、研究者などの人・情報が交流する主催イベント・セミナーの実施

イ 外部からの持込イベント・セミナーの審査

⑥ コワーキングスペース運営業務

相談の前後に利用する無料のワーキングスペースの提供(専有利用及び登記は原則無)

8 費用分担の考え方

K-NICを運営するために新たに生じる経費については、川崎市とNEDOが同額の負担となるよう按分することを基本とする。

9 成果指標

事業効果を評価するため、短期・中期・長期の成果指標を設定

※総合計画では(2)①の起業件数を設定。その他の指標は本事業独自のもの。

(1) 短期

① 起業家及びベンチャー企業への助言・相談(件数)

② 交流による情報や人的ネットワークの構築(件数)

(2) 中期

① 起業の実現(件数)

② 経営面の支援による、公的資金(NEDO事業等)、民間資金(投資家、VC、金融機関等)の獲得(件数及び金額)

③ 知財交流のネットワーク(川崎モデル)を活用した事業会社とのマッチングによる事業提携(件数)

(3) 長期

① 起業に伴う雇用の創出(人数)

② 伴走型支援によるベンチャー企業のIPOや大企業等によるM&Aの実現(件数)

10 機能強化に向けた考え方

(1) 支援機能の強化・充実

① 発信力のある人材による、ICTやメディア等を活用したプロモーションの展開

② 新川崎・創造のもり地区、殿町「キングスカイフロント」地区の研究開発拠点との連携

③ 民間企業や他の地域のオープンイノベーション拠点とのネットワーク化

④ 本市及び財団が実施する関連施策との調整

⑤ 起業・創業支援を行う民間企業との連携

(2) 事業運営基盤の強化

① 持続的かつ自立的な運営体制の構築

ア 持続的かつ自立的な運営体制の構築に向けた、運営主体の3者での調整

イ 起業経験者、VC、金融機関等がイベントの企画・運営、相談等を担う体制の構築

ウ 民間資金の導入など、自立的な運営に資するスキームの構築

② 国の交付金の活用

③ ベンチャー企業の成長と併せ、支援人材の育成による起業家を創出する仕組みの構築

11 今後の予定

(1) 当面の予定

① 本市とNEDOは、施設名称、場所、開設時期、費用分担の考え方を定めた覚書を締結

② 本市、産業振興財団、NEDOの3者は、運営、役割分担を定めた覚書を締結

(2) スケジュール



※運営開始日については、今後NEDO、産業振興財団との調整により決定

①ロビー



⑤打ち合わせスペース2



⑥休憩スペース



イベント・コワーキングスペース

⑦-1



⑦-2



⑦-3



②ブースエリア



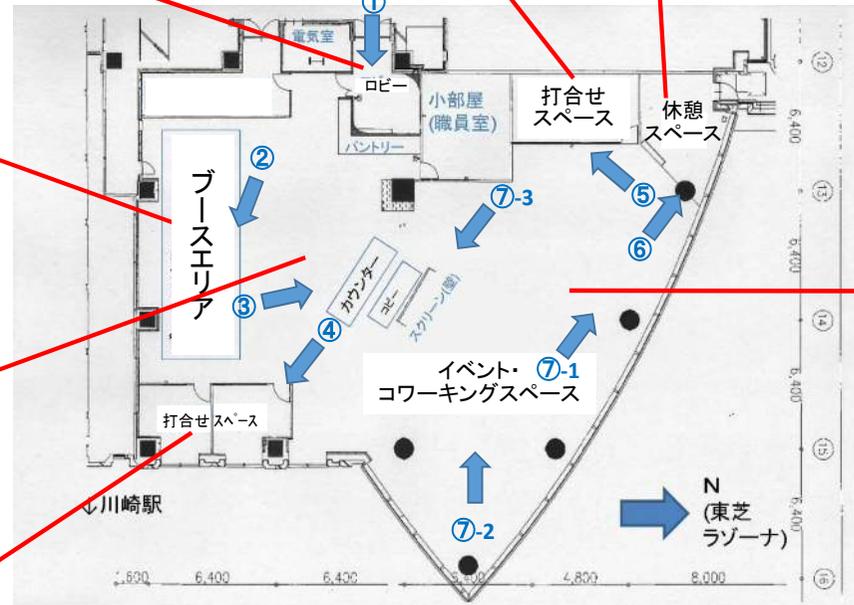
③カウンター



④打ち合わせスペース1



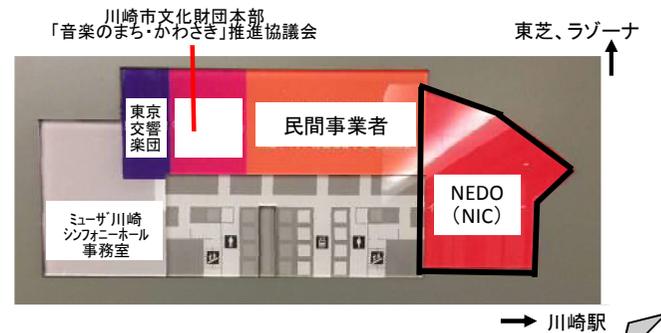
入口



場 所：幸区大宮町1310番地
ミュージア川崎セントラルタワー5階

床面積：約570㎡

設 置：2015年度



NEDO と川崎市が 起業家支援のワンストップ拠点設置に関する覚書を締結 —ベンチャーの発掘から成長支援まで一貫した支援拠点の設置へ—

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)と川崎市は本日、「**起業家支援のワンストップ拠点に関する覚書**」を締結しました。両者は、ベンチャーの発掘から成長支援までを目的に、2019年3月頃に支援拠点「Kawasaki-NEDO Innovation Center(K-NIC)」(仮称)を川崎市内に設置する予定です。

支援拠点には、起業経験者、投資家、知財やマーケティングなどさまざまな専門家への相談窓口、NEDO と川崎市の各種支援事業の相談窓口、ピッチイベント等の交流機会といった機能を集約します。

起業家を次々に生み出す好循環の仕組みを構築し、イノベーションの創出による経済の活性化や雇用の拡大を目指します。

なお、**NEDO が自治体と起業家支援の拠点を設置するのは、初めてとなります。**

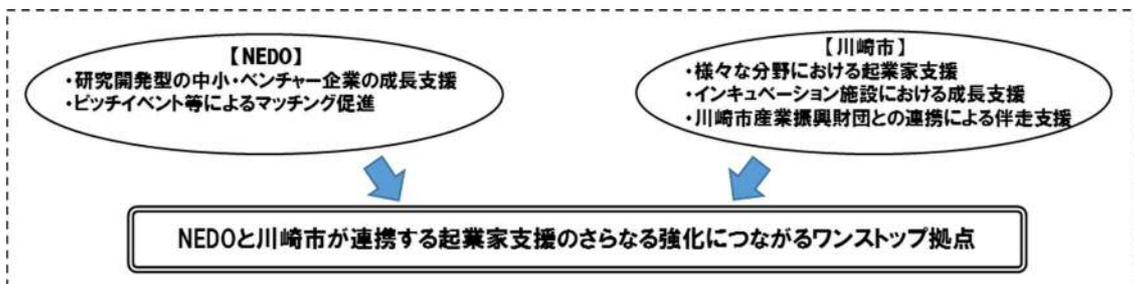


図 連携イメージ

1. 概要

(1) NEDO

NEDO はベンチャー企業・起業家支援の取り組みとして、研究開発型ベンチャーや新事業の創出を目指す起業家を対象に経営・事業化の支援を実施し、2015年度には実施拠点として「NEDO Incubation Center」を開設し、運営しています。さらなる起業家の発掘に向けて、相談窓口の充実を課題としていました。



NEDO ピッチの様子

(2) 川崎市

川崎市は約 400 の研究開発機関が集積していることに加え、25～44歳の起業希望者も増加し、有望な起業家やベンチャー企業が生まれる潜在性が高まっています。力強い産業都市として持続的な経済成長を図るため、イノベーションを創出する起業家を次々に生み出す拠点を必要としていました。



殿町国際戦略拠点
(キングスカイフロント)



新川崎・創造のもり
(AIRBIC)

2 ワンストップ支援拠点について

NEDOと川崎市は2016年6月に締結した、先端的技術や中小企業・ベンチャー企業の発掘・育成などに関する協定を踏まえ、起業家向けワンストップ支援拠点の設置に向けて連携するための覚書を締結しました。NEDOが実施する研究開発型ベンチャー支援と、川崎市が行う起業家支援を、新たに1つの支援拠点のもとで連携して取り組みます。

支援拠点には、起業経験者、投資家、知財やマーケティングなどさまざまな専門家への相談窓口、NEDOと川崎市の各種支援事業の相談窓口、ピッチイベントなどの交流機会といった機能を集約します。

成長分野における独自技術を事業化する研究開発型等の中小・ベンチャー企業や起業家を支援することにより、起業家を次々に生み出す好循環の仕組みを構築し、イノベーションの創出による経済の活性化や雇用の拡大を目指します。

【名称】「Kawasaki-NEDO Innovation Center(K-NIC)」(仮称)

【場所】川崎駅周辺

【設置時期】2019年3月(予定)

【対象者】研究開発型をはじめとする起業家等

【支援人材】

- ・ワンストップで支援を行うコーディネータ
- ・マーケティング、事業計画、経営、知財、国際展開等の専門家
- ・起業経験者
- ・投資家や金融機関

3 支援拠点の主な機能と効果

(1) 主な機能

(ア) ワンストップ窓口支援機能

- ・コーディネータや各種専門家、起業経験者らによる窓口相談および起業の発展段階に応じた伴走支援

(イ) 研究開発型ベンチャーへの支援機能

- ・NEDO、川崎市による研究開発型ベンチャーへの支援事業^{*1}の実施
- ・川崎市内のインキュベーション施設を活用した成長支援

(ウ) 交流・マッチング機能

- ・起業に関するセミナー
- ・交流会などのマッチングイベント
- ・起業家による投資家等へのアピールの場(ピッチ、デモデイ)の提供

(2) 効果

(ア) グローバルベンチャーの創出

- ・新たな起業の芽を増やし、国際的に活躍するベンチャー企業を創出

(イ) 新たな雇用の創出

(ウ) 成功事例の発信

- ・成功事例の発信によりニーズを喚起し、新たな起業希望者を増やし、さらなる起業家を創出

(エ) ベンチャーエコシステムの形成

- ・加速度的に成長する起業家やベンチャー企業を中心としたエコシステムを形成

【注釈】

※1 NEDO、川崎市による研究開発型ベンチャーへの支援概要

(1) NEDOの取り組み

- ・研究開発型ベンチャーやその起業を目指す起業家に対し、実用化開発等に係る資金を助成
- ・NEDOの抱える事業化支援人材、認定ベンチャーキャピタル等の投資家及び事業会社のネットワークにより、起業から資金調達、また企業間連携の実現まで、段階に応じた支援を実施

(2) 川崎市の取り組み

- ・スタートアップ期の研究開発型ベンチャー企業等を対象に、事業化を実現する助言や投資家とのマッチング等を行う成長支援プログラムを「新川崎・創造のもり」で実施(平成30年7月から支援対象ベンチャー企業を公募予定)

川崎市経済労働局イノベーション推進室 担当:木村、加藤

電話:044-200-3895

NEDO イノベーション推進部 担当:井川、西田

電話:044-520-5173